

丹後織物

No.
883

2022.1.1

TANGOORIMONO

発行所 丹後織物工業組合 京都府京丹後市大宮町河辺3188 TEL 0772-68-5211 FAX 0772-68-5300 <https://tanko.or.jp>

年頭所感



丹後織物工業組合
理事長
田茂井 勇人

新年あけましておめでとうございます。

組合員の皆様には、ご清祥のうちに新しい年を迎えられたことと、お慶び申し上げます。

さて、一昨年の丹後ちりめん創業300年に続きまして、昨年は組合創立100周年という大きな節目を迎えました。

しかしながら和装需要の減退や構造的不況に加え、急速に進行する少子高齢化と過疎化、さらに織物に携わる従事者の減少、高齢化による技術継承の課題や織機等設備の老朽化による生産基盤の弱体化など、我々を取り巻く環境は厳しい状況が長く続いています。加えて、新型コロナウイルス感染症の蔓延によりきものを着る機会の喪失、催事などの対面販売の機会喪失とさらに追い打ちを掛け厳しい環境となりました。

そのようななか、組合では昨年には組織改革を行い、役職員が一丸となつて様々な課題に対応し円滑に事業執行できる体制を構築し、自分達で稼ぐ組合を目指して取り組みを進める一方、組合の共同加工施設はその歴史、規模、技術力は日本一の工場だと自負しており、焦眉の課題である老朽化した設備の更新や高付加価値加工を可能とする機械の導入を進め、丹後のみならず日本の和装文化を支える工場としての使命を果たしていく所存です。

さらに、丹後産地として次の50年、100年と持続可能な織物産地として発展していくには、きもの市場はもとよりこれまで培ってきたさまざまな織り技術や精練を含めた関連技術を活かして、ファッションやインテリアなど成長するグローバルな市場を目指すことも不可欠であります。その一環として、昨年度より京都府と西陣織工業組合、京友禅協同組合連合会、当組合の

3組合でシルクテキスタイル・グローバル推進コンソーシアムを立ち上げ海外発信、インテリア業界への進出などを進めております。また、コロナ禍によりリアル展示会の開催が難しいなかでオンライン商談の取り組みや「きぬもよふ」の販売、丹後で作られているプロダクトの販売を行うECサイトの構築を進め、稼ぐ産地としての基礎づくりに取り組んでいるところであります。

昨年の東京五輪に続き、2025年に開催される大阪万博に向けて近畿経済産業局において丹後ちりめんを「地域ブランド」に認定していただいたところであります。産地としても更なる期待を膨らませているところであります。

受け継がれてきた「絹織物」という資産を次世代、次の100年に向けて、確実に継承し、若い世代が郷土に誇りを持つる未来を築き上げるため、勇気を持って新しい成長への道にチャレンジしてまいります。

引き続き、組合員の皆様の格段のご支援ご協力を賜りますようお願い申し上げます。新年のご挨拶とさせていただきます。

府民の皆さまと力を合わせ 京都の夢を実現



京都市知事
西脇 隆俊

あけましておめでとうございます。府民の皆さまにおかれましては、つつがなく新しい年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

昨年の新型コロナウイルス第5波では、これまでに経験したことのない感染拡大を引き起こしました。この波を乗り越えられたのも、すべての府民の皆さま・事業者の皆さま、そして医療従事者をはじめ関係の皆さまのご協力の賜であり、心から感謝と敬意を表する次第であります。

人類が対峙する新型コロナウイルスは、生命や健康を脅かすだけでなく、世界経済をも混乱に陥れました。われわれは感染予防対策を日常生活に取り入れ、ワクチン接種を進め、医療提供体制を整えるなど、この困難を乗り越えるため、力を合わせ立ち向かっています。

「あなたが一人で見る夢はただの夢だ。みんなで見る夢は現実になる」

A dream you dream alone is only a

dream. A dream you dream together is reality。」

これは、ヨーコ・オノとジョン・レノンが伝えるメッセージです。

われわれは困難を乗り越えた先に見える「夢」を現実のものとするため、力強く歩まなければなりません。夢の形は人それぞれですが、誰もが夢を抱き、夢に向かってチャレンジすることのできる社会を築きたい。そのためには「府民と共に京都夢実現プラン（京都府総合計画）」をさらに前進させる必要があります。

こうした中、これからの京都発展の原動力となる文化庁の京都移転、新名神高速道路の開通、大阪・関西万博の開催が続きます。時機を逸することなく、京都が持つ魅力の源泉である文化の価値をしっかりと国内外に発信することはもちろん、基盤整備を活かした産業戦略と一体となった雇用戦略の展開など、京都の夢を実現するため、着実に取り組んでまいります。

今年寅年です。「寅」は動くを意味し、芽の出たものが成長していく年です。明治以来初の中央省庁の移転となる、文化庁の京都移転という新しい幕開けに向け、この一年がよりいっそ

う弾みとなりますよう、皆さまと一緒に夢に向かって邁進してまいります。今年一年の皆さまのご健勝とご多幸を心からお祈り申し上げます。いさつといたします。

年頭所感



京都織物卸商業組合
理事長

野瀬 兼治郎

謹んで新春のお慶びを申し上げます。まもなく昨年の、新型コロナウイルス感染症により亡くなられた方々に謹んで哀悼の意を表するとともに、医療関係の皆様への献身的なご尽力に対し心より感謝申し上げます。

さて昨年の世界経済は、国や地域によるばらつきがあるものの、総じてコロナ危機による落ち込みから回復の動きがみられました。先進国では、ワクチン普及による重症化率の抑制などから緩和が進みましたが、変異株の拡大により世界経済の回復ペースを鈍らせる要素となりました。

国内では、春先に第4波、夏に第5波と変異ウイルスの猛威により、緊急事態宣言が断続的に発令されたことで1年の大半が宣言下にあり、行動が制

限されました。年初めにわずか数%だったワクチン接種率も21年後半には7割を超え、それとともに感染者も大幅に減少したことは明るい兆しだと思います。経済が大打撃を受ける一方で、リモート化やデジタル化は一層加速し、社会が求める製品やサービスのニーズが変化することで新たなビジネス機会が生まれるなど、イノベーションの重要性がより高まったと言えます。

コロナ禍で従来の販売方法や体制に変化が生じ、OMO（オンラインとオフラインの融合）やDX（デジタルトランスフォーメーション）が急進し、タッチレス（非接触）やキャッシュレス（現金に触れない）、ペーパーレス（チラシ販売からアプリへ）等に加え、ポ一

ダーレス(業種や業態を超えた競争と融合)やオフィスレス(リモートワーク)等のレスに対する広がりは今後ますます拡大していくとみられます。

一方、我々業界を取り巻く環境は長引くコロナ禍で疲弊感は強まり、特に緊急事態宣言下における外出自粛、百貨店、小売店の休業や時短営業、来店客の減少が売り上げ減少に拍車をかける結果となりました。和装業界は訪日外国人を中心としたレンタル着物物が激減、卒業式や入学式などのイベント中止による購買機会も消滅する結果となりました。洋装業界ではコロナ禍で外出が減り、ファッションを楽しむマインド低下によるアパレルのニーズが急落し、それ以前より生じていた低価格化・カジュアル化の流れが加速し大きな打撃を受けました。寝装業界も百貨店や小売店の時短営業等により苦戦したものの、快適なお家時間を過ごしたいというニーズの高まりから高機能寝具の売れ行きは比較的堅調なものとなりました。

”明けない夜はない”ものごとは必ず良い方向へ変わる、今年こそそんな1年に出来るよう、皆様方には今まで以上のご協力を賜り、将来に向け、業界全体をより強固に結び付けるよう、英知を結集してこの難局を乗り越えるべく考えておりますので、本年もご支援、ご指導ご鞭撻を賜りますよう、お願い申し上げます。

結びにあたり、本年が皆様にとって良い年でありますようご祈念申し上げます、新年のご挨拶とさせていただきます。

持続可能な

西陣織産地づくりを目指して



西陣織工業組合
理事長

舞鶴 一雄

新年あけましておめでとうございます。皆様におかれましては、つつがなく新しい年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

昨年一昨年と2か年にわたり猛威を振るった新型コロナウイルス感染症は、私たちの社会生活を一変させ、経済を失速させ、我々の業界も非常に大きな打撃を受けました。今は1日でも早くコロナ禍が収束し、コロナ前の日常を取り戻せるようお願いばかりです。

昨年はそのような中でも、2020東京オリンピック・パラリンピックが開催され、コロナ禍で意気消沈していた日本国民に多くの勇氣と感動、そして元気を与えてくれました。地元京都からもメダリストを多数輩出し、我々は困難に立ち向かう力をもらうことが

できました。

さて、今年は、令和になって4回目の年を迎えます。西暦では2022年、西陣呼称の起点とされている1467年の応仁の乱から数えてちょうど555年目となります。我々はこの間、555年にちなみ、今年に向かって「Road to Nishijin 555(GoGoGo)」をスローガンに、コロナ禍で元気を失っている産地を鼓舞してまいりました。そしていよいよその555年目を迎えました。

555年目の今年は、将来に向けて持続可能な西陣産地づくりを目指し、まずは西陣織のすばらしさを改めて世間に広めていくこととし、様々な取組を進めてまいります。

今年一年の皆様方のご健康とご多幸

を心からお祈り申し上げます、新年のご挨拶とさせていただきます。本年も何卒よろしくお願い申し上げます。



次代に向けて歩みを進める



株式会社 京都銀行
取締役頭取

土井 伸 宏

2022年の年頭にあたり、謹んでご挨拶を申し上げます。

昨年のわが国経済は、新型コロナウイルス感染症に翻弄されながらも、経済活動の通常モードへの復帰を探る動きが続く展開となりました。ワクチン接種の進展とともに経済活動も本格化へ歩み始めた一方、半導体不足の長期化、部品供給の停滞、原油高などのリスク顕在化のほか、新型コロナウイルス変異株による感染もみられ、期待と不安が交錯する中で新年を迎えることとなりました。

こうした中、中世以前に育まれた高い技術力・文化力と気候・風土を土台とし、近世の先端技術を採り入れることで飛躍的な発展を遂げた丹後ちりめんが一昨年に創業300周年を迎え、また、昨年には丹後織物工業組合の創立100周年という節目を迎え、今、次代へ向けた歩みが始まっております。

コロナ禍により従来とは異なる行動様式を余儀なくされる状況の中、丹後

織物に携わる方々は旧来の取り組みにこだわらず、ウィズコロナ時代の戦略構築を進め、「TANGO OPEN」というブランド発信を展開するなど、現状に安住しない数々の取り組みに着手されております。長い歴史の中で築き上げてこられた丹後織物という確固たる基盤を活かしたうえで、さらなる高みを目指す弛まぬ取り組みは注目を集めており、昨年9月に経済産業省近畿経済産業局による「地域ブランド」に丹後織物が選定されております。さらに、昨年に貴組合は京都府などと「シルクテキスタイル・グローバル推進コンソーシアム」を立ち上げ、丹後織物、西陣織、京友禅の各産地が連携することで、世界のニーズに応えられる魅力ある商品づくりを志向し、シルクテキスタイルの世界的産地へならんとする先進的な活動を進めておられます。このような一つひとつの取り組みが、次の100年、200年の礎になるものと確信しております。

当行におきましては、京都府北部で

丹後銀行として歩みを始め、昨年、創立80周年を迎えました。当行の成長は、地域のお客さまからの温かいご支援があったからこそでございます。80年前とは異なり、金融を取り巻く環境は大きく変わり、お客さまのニーズも多様化・高度化しております。一方で我々の地域へのおもい、「地域社会の繁栄に奉仕する」という経営理念は不変でございます。従来型の取り組みに固執することなく、お客さまの課題解決に貢献することで、地域経済の活性化に繋げる取り組みを継続し、京都に本店

年頭所感



株式会社 商工組合中央金庫
京都支店長

安達 康 宏

令和4年の新春を迎えるにあたり、所感の一端を申し述べて年頭のご挨拶とさせていただきます。

昨年は新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴い、全国各地で緊急事態宣言などが断続的に発令される中、飲食や宿泊関連などの対面型サービス業を中心に深刻な影響を受けました。さらに、中小企業の過剰債務解消に加え、

を置く金融機関として持続可能な地域社会づくりに貢献してまいります。何卒、本年もよろしくお祈り申し上げますとともに、みなさまのご健勝とご多幸を心からお祈り申し上げます。新年の挨拶とさせていただきます。

政府が進めるカーボンニュートラルへの対応、自然災害に備えた事業継続計画の策定など、中小企業の経営課題は、従前にも増して多様化しています。

このような中、私ども商工中金は、危機対応業務の指定金融機関として、制度を的確に運用しつつ、影響を受けられた中小企業の皆さまの個別の実情に応じた懇切・丁寧な対応を行うと

もに、資本性劣後ローンを活用した財務基盤の構築にも取り組んでまいりました。

低炭素経済への移行や社会のデジタル化等の大きな変革も見据えて、引き続き真にお客さま本位かつ長期的な視点で、中小企業及び中小企業組合の企業価値向上に貢献してまいります。

具体的には、産業構造や社会の大きな変革を見据えた事業再構築や新事業への進出、業務のデジタル化、経営改善、事業再生などに取り組む中小企業の皆さまに対する支援を重点的に行ってまいります。日ごろからのリレーションを一層強化し、地域金融機関や外部専門機関との連携・協業を密に行いながら、お客さまの経営課題に対応してまいります。

また、こうしたビジネスモデルを支える屋台骨として、引き続きコンプライアンスの徹底や内部管理態勢の強化に取り組むとともに、職員の能力を最大限に発揮するため、ダイバーシティの推進やインクルージョンを徹底してまいります。

「中小企業による、中小企業のための金融機関」として、皆さまから信頼され、支持され、これまで以上にお役に立てるよう、役職員一同、全力で努力を続けてまいりますので、今後とも格別のご指導とお引き立てを賜りますようお願い申し上げます。

健勝をお祈りいたしましてご挨拶いたします。

地域活性化の実現に向けて



京都市北部信用金庫
理事長
吉田 英都

明けましておめでとございます。皆さまにおかれましては、健やかに新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

昨年は、新型コロナウイルスのワクチン接種など感染症対策が進展し、「緊急事態宣言」が9月末に解除され、経済回復を視野に入れた行動制限緩和に向けて動き出しましたが、変異株の流行による内外経済の不透明感を払拭できないまま新年を迎えることとなりました。

京都府北部地域の経済は、サプライチェーンの混乱から原材料の高騰が重しとなりましたが、当金庫調査の令和3年7～9月期景気動向調査による全業種の景況判断DIは△44・5となり、新型コロナウイルス感染症拡大の影響が顕著であった令和2年4～6月期の同DI△67・5と比較しやや明るい兆しが見えてきました。

府北部の5市2町において形成される『海の京都』未来創生ネットワークは、都市部の副業・兼業人材の活用を支援することで事業者さまの経営課題解決や地域関係人口の創出を目指しており、当金庫は中核企画機関の役割を担っています。

また、京都信用金庫、湖東信用金庫および龍谷大学ユヌスソーシャルビジネスリサーチセンターと連携し、「ソーシャル企業認証制度」を創設しました。本制度は、地域の社会課題の解決やESG経営を目指す企業を評価し認証する制度であり、当金庫のお取引先13先の事業者さまが認証されました(令和3年11月現在)。当金庫は、社会課題の解決に取り組む企業を応援することで地域経済の持続的成長を支え、ソーシャルマインドの醸成と持続可能な社会の実現を目指しています。

当金庫も、地域の皆さまのお力添えにより、昨年創立120周年を迎えることができました。ウイズコロナ・アフターコロナにおいても、経済社会活動の早期正常化が待ち望まれる中、これからも地域の皆さまへの一層の支援を全力で続けてまいります。

結びにあたり、丹後織物産業のますますの発展と、皆さまのご繁栄ご健勝を祈念いたしまして、新年の挨拶とさせていただきます。

本年もよろしくお願ひ申し上げます。

このような中、貴組合は、昨年創立100周年という節目の年を迎えられ、10月には「組合創立100周年記念事業 TANGO TEXTILE XHIBITION 第72回丹後織物求評会」を盛大に開催されました。これまでの歩みをふり返りますと、丹後大震災、第二次世界大戦、オイルショック、バブル経済崩壊など激動の100年であり、この間、幾度となく起こった危機を乗り越えられてきました。これまで培われた様々な知恵と貴重な経験を生かし、新型コロナウイルス感染症もきつと乗り越え、長い歴史のある「丹後ちりめん」を次の100年に受け継ぎ、更なる発展を遂げられるものと確信しております。

当金庫は、地域活性化を実現するため、様々な取り組みを行っております。中でも、中小企業庁「地域中小企業人材確保支援事業」を活用し、京都

組合創立100周年記念事業

TANGO TEXTILE EXHIBITION 第72回丹後織物求評会開催

10月21日(木)～31日(日)に亘り、「組合創立100周年記念事業 TANGO TEXTILE EXHIBITION 第72回丹後織物求評会」を昨年同様、組合敷地内の特設会場において開催しました。本年は『次代へ、新たな挑戦。次なる100年に向けて…。』をテーマに、伝統ある丹後産地で織り継がれた匠の技の粋を集め、斬新かつ創造性に富む作品の数々を展示しました。

10月21日には京都府議会議員の中島武文様、森口亨様をはじめ、多数のご来賓出席のもとオープニングセレモニーを行い、当イベントが開幕しました。

今回の求評会審査会は審査区分を「表地」・「裏地」・「小物」・「先染」・「テキスタイル」の5部門に変更するとともに、審査方法も専門家による審査から展示商談会期間中の来場者による投票にて入賞作品を決定する方法に変更して実施したこともあり、21日・22日の展示商談会では出展者によるアテンドに加え、組合員36社から出品された196点の作品を来場者が1点1点丁寧に見る姿が随所に見られ、結果、栄えある経済産業大臣賞に表地部門から「防染木賊ちりめん うねり立枠」(田勇機業株式会社)が受賞するなど、10賞12点の入賞作品が選出されました。

10月23日～31日は一般消費者並びに地域住民、地域の小中高生に丹後で製織される織物を広くPRするとともに基幹産業に対する「誇り」の再醸成を図っていくことを目的に組合員37社から出品された全230点の作品を一般公開し、23日には創立100周年記念式典、31日には組合本部で行われた丹後ちりめんデジタルアーカイブ成果発表会の生配信を行うとともに、西陣織工業組合のご協力のもと丹後産地で製織された先染織物、100年の歴史を振り返る特別展示、丹後若手グループ「絹友会」による製品展示、日本遺産パネル展示、海外デザイナーとのコラボレーション事業であるTANGO CREATION PLATFORMによって制作したバッグや羽織を展示するなど、まさに創立100周年を記念する一大イベントとなりました。

また、特別審査として開催期間を通じた来場者によるリアル投票及びオンライン投票により入賞作品を選出する「組合創立100周年特別賞」・「伊達男きもの賞」(男のきもの部門対象)には、それぞれ「ビビットバブル」(柴田織物)、「丹後織御召 風通織クロコダイル」(株式会社ワタマサ)が受賞しました。



なお、本年の展示会用色見本については、デザイナー寺西俊輔氏(STUDIO ALATA 合同会社代表)に求評会向けに特別カラーを選定していただき統一感のある展示となるとともに、「TANGO OPEN CENTER」のトライアル事業として、会場入り口の横スペースにてテスト販売を行いました。

新型コロナウイルスの影響が心配されるなか、会期中は業界関係者のみならず組合員や地元住民の方々が多く来場され、延べ11日間で約800名の来場者があり、盛会のうちに終了しました。

入賞作品

経済産業大臣賞	表地部門	防染木賊ちりめん うねり立枠	田勇機業(株)
中小企業庁長官賞	小物部門	二色縫取パレス帯揚 二色縫七宝	(株)西太織物
経済産業省製造産業局長賞	先染部門	3D STRIPE	柴田織物
〃	テキスタイル部門	キレ布	創作工房糸あそび
農林水産省農産局長賞	表地部門	紋紗新青貝織	(株)三徳
近畿経済産業局長賞	表地部門	先染縞コート波	篠春織物(株)
京都府知事賞	小物部門	きんきら金	(株)一色テキスタイル
〃	小物部門	縫取帯揚 平面取幾何学文様 スクエア	丸共(株)
全日本きもの振興会会長賞	表地部門	白お召葉っぱ	篠春織物(株)
京都織物卸商業組合理事長賞	小物部門	葉桑葉染織	(株)三徳
日本絹人織織物工業組合連合理事長賞	小物部門	藤のさざ波(袋帯)	遊絲舎
日本絹人織織物工業会会長賞	テキスタイル部門	十二越鬼鳩 ハードちりめん	白井織物(株)

【特別賞】

組合創立100周年特別賞	先染部門	ビビットバブル	柴田織物
伊達男・きもの賞一席	男のきもの部門	丹後織御召 風通織クロコダイル	(株)ワタマサ

ご来場者の展示に対するご意見

- ◎木の香りの中で選品できて良かった。心地良く素敵なお展示でした。
- ◎白生地を見てみると素材感が分からなかったが、染め上げ品を見て素材感が立体的に表現されていたものがある。
- ◎特にダイナミックなデザインが良い。
- ◎初めて来場しましたが、たくさんの素材が展示されていて楽しかった。
- ◎足元といい、すごく引き込まれる空間で素敵でした。
- ◎木綿は扱いたい。
- ◎歴史的なコーナーは、大切な丹後の宝を見たように感じました。



ご来場者の当イベント、丹後産地全体に対するご意見

- ◎別に商談スペースがあつて、この場で売上げを確立できたら嬉しいです。
- ◎京都市内での開催を期待する。
- ◎前向きに取り組まれていて良いと感じました。
- ◎長年白生地を見てきましたが、ハツとするような商品に投票した。
- ◎ちりめんの帽子に一番惹かれました。ち

りめん特有の質感を残したまま、オシャレの要素もあつて素敵でした。いきなりちりめんの洋服を着るのはちょっとためらうけど、小物でオシャレなものだったら、身に着けたいなと思います。

◎他府県の人は、良いきものが欲しいと思つている。

◎和風だけでなく、洋風にも合う作品が多く、今後の広がりを感じました。帯揚げなどはストールにしても良いなと思うものがたくさんありました。きもの地も、アレンジした着方ができそうなモダンな柄も多く、若い方にももっと見てほしいなと思つました。

◎制作過程やデザイナー・コンセプトなどシヨートムービーがあれば分かりやすいと思つています。

◎様々な生地及び織物事業者を一同に見ることができ、改めて丹後ちりめんの魅力に触れることができました。

◎素晴らしい作品ばかりでした。目の保養をさせていただきありがとうございました。どれも素敵で選ぶことができました。



◎市内の一般の方も多く来ていただけたら良い。

◎進化する丹後を感じます。

◎個人的にきものは好きですが、丹後に来てもあまりきものを着ている方がいないのが残念。もっときものを着ていけるところなものがあれば良いのと思つています。

◎よりユーザーの意見を取り入れたもの作

りを重視する一方、染色を意識したものを作りを期待します。

◎商品の良さを引き続きアピールしてください。

◎精練前後の生地に触れられてとてもすごい技術を体感して感動しました。映画村などの時代劇ファンが楽しめる所での展示など楽しいだろうと感じました。

◎貴重な産業・産地として、できる限りの支援を行いたい。優れた技術の活かし方が重要。異なる業種・業界との連携、消費者ニーズの的確な把握等が必要。

◎様々なイベント・開発・情報発信と丹後の様、皆様の勢いを感じます。

◎今年の皆様の出展商品は素晴らしいです。いつか輸出したいです。

◎京都市内の問屋さんにパワーが無く、新しい提案などももらえません。このようなイベントを見て、また、勉強したいです。色々教えて欲しいです。

◎バルーンバッグを自社の生地で織つて作つてもらいたい。

◎大学の調査で丹後に来て以来、きもの以外で過ごせないほど反物の魅力に取り憑かれました。これからも頑張ってください。

◎丹後人の誇りの展示会だと思つて。また工場に歴史的価値がある!!活用保全に期待します。アジアに向けての文様や生地・デザインがこれからの楽しみでもあります。

◎仮絵羽のきものももう少し多ければ良かったのではないですか。ありがとうございました。

◎京都市内でやつているように京丹後市でも観光客相手にホテル、旅館の泊まり客に対してでもきもの着付け等格安でリースするとうのはどうか。浴衣ばかりでなく、少しは消費に影響するかも。

◎丹後の若者が誇りを持てる貴重な産業だと思つています。

◎海外デザイナーなどとの新たな取り組みなどに明るい希望が持てます。始祖の残した偉大な技術のさらなる発展、飛躍を期待

しています!

◎若い方にもたくさん見てもらいたいですね!来年も男ものたくさん期待しています!

◎100周年おめでとうございます!次の100年に向けて、これからも丹後地域を牽引する産業であり続けられるよう頑張ってください。期待していますよ!

◎廃れていく物がある中で、職人さんがこだわつて作るものに熱い思いと丹後ちりめんを好きな気持ちで伝わります。

◎もっと、世の中に世界に知られるべきだと思つています。私もそのために出来ることを頑張ります。職人の皆さん、どうかずっと織物を作り続けてください。よろしくお願ひします!

◎インテリア、小物などにも向く新しいアプローチに期待します。

◎会場で見た素材は素敵でした。できればもう少したくさんオンラインでも見られるとありがたいです。

◎益々の発展を祈願します。

◎改めて丹後は数多くの素材が集積する産地であることを認識しました。丹後の開催は昨年引き続き2回目ですが、地元開催で織手さんや子供達が身近に触れることができるのは大変良いことと思つています。



組合創立100周年記念式典挙行



2021年、現組合の起源となる「丹後縮緬同業組合」が1921年に創立されて以来100年という大きな節目の年を迎え、去る10月23日、京丹後市峰山総合福祉センターにおいて近畿経済産業局長伊吹英明様、京都府知事西脇隆俊様を始め、地元選出国會議員、府議會議員、地元首長、関係団体役員、歴代の組合常務役員、理事・監事、組合職員ら約60名の出席のもと組合創立100周年記念式典を挙行了しました。

式典では映像にて100年の組合、産地の歴史を振り返った後、組合役員として永年にわたり組合並びに産地の振興発展に寄与された4名の方に対し「組合功労者」として、また組合職員として長年にわたり

組合を支えてきた3名の方々を「組合優良職員」として京都府知事より表彰状と記念品が贈られました。（表彰された方々は下記の通り。）

式典の最後には、田茂井理事長より産地や組合を取り巻く環境や厳しい現状を踏まえながらも、西陣・京友禅・丹後の3組合による「シルクテキスタイル・グローバル推進コンソーシアム」や組合によるオンライン商談システム、ECサイトの構築等の取り組み、組合加工場の設備導入等を進め稼ぐ組合を目指すとともに、次の100年に向けて丹後地域の基幹産業として若者に「夢」「希望」を与え、多くの方に注目される産地、持続可能な産地を目指すため、自覚と責任を持ってチャレンジしていくと力強い決意表明が行われました。



京都府知事表彰

【組合功労者】

元代表監事	田茂井	康博氏
元理事	池田	寛樹氏
理事	安達	昇平氏
”	山崎	正一氏

【組合優良職員】

名定	美穂氏	加工場主任
堀江	さとみ氏	TOC事業課
西村	直人氏	加工場

令和3年度 丹後の職人・丹後ちりめんきもの大賞

組合では平成26年度より「丹後の職人」認定制度と「丹後ちりめんきもの大賞」表彰制度を創設していますが、このほど令和3年度の認定者及び表彰者を選定し、去る12月23日開催の理事会の席上において認定式・表彰式を執り行いました。

丹後の職人

「丹後の職人」は、産地の織物製造、また関連する様々な分野で長年従事され、その蓄積された技術を携える職人さんを認定するもので今回、2名の方が認定されました。

【第7号認定】

尾関 正巳 氏

(宮津市)

昭和45年より家業の織物業に従事され、織物全般(原糸購入から製品出荷)に携わり、昭和57年に「1級織機調整技能士」の資格を取得されました。

平成21年から、与謝野町織物技能訓練センターの「織物技術指導員」として織物に関する相談や指導、新規織物の開発、織物従事者の養成に貢献されています。



尾関氏 鈴木氏

【第8号認定】

鈴木 斎志 氏

(京丹後市網野町)

昭和42年、織物製造会社に入社され、織物製造技術、織機調整技術を学び、昭和61年に「1級織機調整技能士」の資格を取得するなど高い技術力を持ち、平成2年には丹後内で織機調整技能士

の資格を持つプロフェッショナルグループ「丹後テキスタイルテクノ」の会員となり、京都府の技術アドバイザー、中小企業特別技術指導員として織機調整に関する研修会講師など長年にわたり若手技術者の人材育成に貢献されています。

丹後ちりめんきもの大賞

「丹後ちりめんきもの大賞」は、丹後地域において業界に大きく貢献しているきもの愛好家などを表彰するもので今回、2名の方が表彰されました。

堤 木象 氏

(京丹後市網野町)

昭和62年にアートイベントスタッフとして丹後に来られて以来、丹後の草木に興味を持ちそのまま移住され、実験的に草木で布を染め始めたのがきっかけで現在、草木染作家として活動されています。

平成7年に京都府の中小企業特別技術指導員、平成8年には京都府技術アドバイザーに選任され、府の指導員として若手事業者の指導に当たりながら交流を深め、若手グループ「TANGO+」の立ち上げに貢献され、グループによる販売会を実施されるなど丹後産地の振興に大きく貢献いただいています。



堤氏 藤井氏

藤井 美枝子 氏

(京丹後市峰山町)

平成19年、京丹後市商工会女性部部長に就任され、大宮支所にきもの看板、京都丹後鉄道の各駅にきものミニ看板を設置するなど地場産業である丹後ちりめんのPRや観光振興、地域振興に尽力されました。

また、平成19年に設立された丹後和装振興対策事業開催委員会(丹後きものNET)の実行委員長、平成28年には丹後ちりめん創業300年事業実行委員会の和装振興部長として、丹後きものクイーンの選出や派遣、浴衣やきもの日、月間の設定や周知など業界の振興・丹後ちりめんのPRに大きく貢献いただいています。

首都圏における展示商談会事業

「JFW JAPAN CREATION2022」へ11社が出展！



組合では、去る12月7日(火)・8日(水)、東京国際フォーラムに於いて「JFW JAPAN CREATION2022」へ丹後の織物事業者11社が出展しました。

本展示会は日本最大の繊維総合見本市であり、高感度・高品質・高機能などの付加価値の高い日本製品を一堂に揃え、質の高いバイヤーが集うビジネスの場となっており、丹後産地の伝統に培われた技術と多種多様な繊維の総合産地として進化を続ける丹後地域の技術力、商品力を全国に向けてPRしました。

今回は組合ブースを設け、組合ホームページを活用した加工技術紹介、関連事業のプロモーション放映、SNS等のコンテンツ充実など、幅広い世代に向けたPR活動を展開しました。

また、過去の事業で作成した丹後織物事業者のスワッチ帳を持参することで、丹後の技術を紹介しました。

出展業者名 (11社)

株式会社一色テキスタイル／株式会社大江／柴田織物／創作工房糸あそび／タカモトシルク有限会社／田勇機業株式会社／丸仙株式会社／宮眞株式会社／株式会社山藤／遊絲舎／丹後織物工業組合



※会期中はスタッフ及び出展者のマスク着用の徹底、定期的なブースの消毒、会場の人数制限など、新型コロナウイルス感染拡大防止に努めて開催されました。

[丹後単独]オンライン商談会を実施！

新型コロナウイルス感染症の影響で、対面での商談が厳しい現状を打破するため、当組合では昨年より「KYOTO-TANGO ONLINE FACTORY ～ Meet Japan's Textile～」と銘打ち、オンライン商談会を開催しています。

去る10月18日(月)、19日(火)の2日間に国内外へ向けたオンライン商談会を開催し、多くのバイヤーやデザイナーと非対面でのビジネスの場を展開しました。

また、今年度より取り組んでいる京都の染織産地共同事業「シルクテキスタイル・グローバル推進コンソーシアム連携事業」にて株式会社ビジネスガイド社と連携することで、国内の有力なバイヤー招聘へと繋がり、後に開催された「TANGO TEXTILE EXHIBITION / 第72回丹後織物求評会」への誘客に繋げるなど、オンライン・オフラインによる商談活動を展開しました。



■商談会ページ

<https://meet.tangoopen.jp/>



参加事業者 (12社)

株式会社一色テキスタイル／白井織物株式会社／柴田織物／創作工房糸あそび／民谷螺鈿株式会社／田勇機業株式会社／丹菱株式会社／丸仙株式会社／宮眞株式会社／安田織物株式会社／遊絲舎／丹後織物工業組合

上田安子服飾専門学校 学生来丹

組合では、未来のファッション・アパレル業界を担う学生とコラボして産学連携事業を実施しており、昨年11月には上田安子服飾専門学校から多くの学生が来丹され、丹後の文化や景色、丹後織物の高い技術力に触れる機会を提供しました。

伝統的な丹後ちりめんの製造現場から丹後の新しいモノづくり現場など、幅広い見学により、参加学生のちりめんへの理解や新しいプロダクト開発への意欲向上へ繋がり、双方にとって良い機会となりました。



1月22日(土)に開催される「UEDA GAKUEN Collection」では、丹後の素材を使ったコーナーが展開予定となっています。

■ UEDA GAKUEN Collection 情報はここから！ <https://www.ucf.jp/oc/collection/>



Fashion Cantata from KYOTO Exhibition開催!



11月3日(水・祝)から28日(日)まで、京都駅ビル内において、「Fashion Cantata from KYOTO Exhibition」が開催され、丹後より2点の男のきものが披露されました。

ファッションカンタータは、京都の上品で雅やかな和装文化と有名ブランドによる洋装文化との交流・融合を図り、京都から日本の古き良き伝統を広く情報発信することをコンセプトとしたファッションイベント。

今回は、昨年引き続き開催を見送られた第28回のショーで紹介できなかった

作品のお披露目を衣装展示会という形で開催されました。



【展示作品】

《和装》

◆カンタータ和装部会

西田 裕子 [和染紅型]・藤井 裕也 [絞り工芸]・
室華風 [蠟纈染(ろうけつぞめ)]

◆丹後織物工業組合[男のきもの]

《洋装》Y's

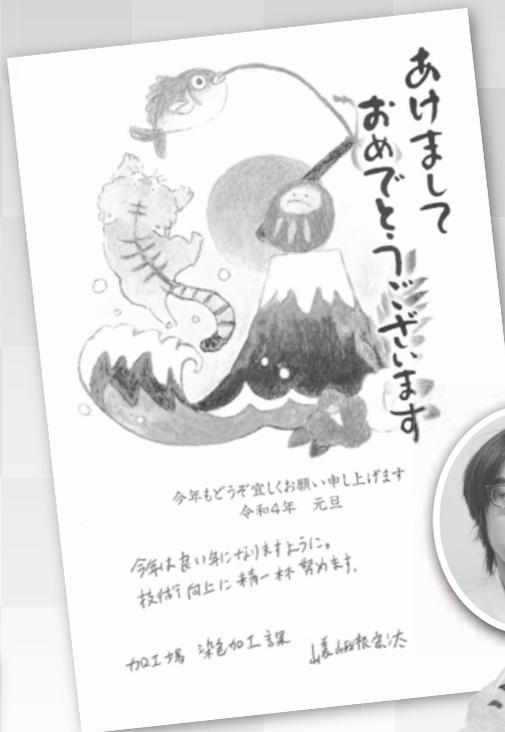
【実施期間】11月3日(水・祝)～28日(日)

※期間中2期に分けて、展示品は入替展示されました。

【展示会場】京都駅ビル内/京都駅ビル インフォメーション前(2F)
ホテルグランヴィア京都(2F)、ジェイアール京都伊勢丹(11F)

年男

年女



広告

CGS2フォーマット対応ジャカードコントローラー

佐和染織工芸 ハリサ工業 エイチ・ケイ・サムテック **ダイレクトジャカードにも**
 エイチ・ケイ・サムテック **SEJ電子ジャカードにも**
 これまでのフロッピーディスクを使用しないCGS2フォーマット規格に対応した
 コンパクト設計のコントローラーです。
 光ファイバー仕様の佐和式ダイレクトジャカード・電子ジャカードに対応します



USBメモリーで製織 CGS2 Mini コントローラー



既存コントローラーの改造も可能で織戻し 一枚戻し 三枚戻し等も今まで通り操作することができます
 USBメモリーに保存した複数の紋紙データを読み出して製織できるようになります

主な操作機能・特徴

- 一枚送り 一枚戻し 三枚戻し 織戻し 織戻し時交換(杼箱)合わせ 先頭呼出し 越番指定呼び出し
- 越番加算・減算呼出し 繰り返しカウンター停止信号 外部APF信号戻し
- USBメモリーに保存したCGS2 データを製織時に読み込み・移動します(製織準備時間30秒以内)
- USBメモリーに最大 80 柄まで保存 ・ 選択製織可能
- エンドレス 2000 口 200rpmまで対応(どちらか片方上限値)
- OS ・ ハードディスクを使用しない専用基板 高信頼設計 低消費電力

佐和染織工芸の伝統と技術の継承

これまでに国内1万台以上の実績 国内ダイレクトジャカードのスタンダードです
 エイチ・ケイ・サムテックは紋織りジャカード装置を通じて製織現場の信頼性を支え続けてまいります

製品のお問い合わせ先

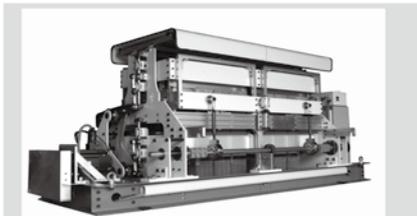
丹後地区代理店	梅田機料品店	京丹後市網野町浜詰 678-29	0772-74-0616
	小牧機料店	与謝郡与謝野町算所 463	0772-43-1121
	丹後ダイレクトサービス	与謝郡与謝野町幾地 1652	0772-42-4413
	ダイレクト・今井	与謝郡与謝野町石川 2324	0772-42-4445
	フナト機工有限会社	京丹後市網野町浜詰 678-33	0772-74-0347

製造元

有限会社エイチ・ケイ・サムテック 岡山県美作市北山1001 0868-73-6166

技術集団 CSS 自社開発製品の一覧

単動式電子ジャカード



サーボモータ付電子ジャカード

特徴

- 棒刀・ふみせに対応
- 口数は自由設計
- メンテナンスは
タテ針とカセット交換
- 最先端型業種に認定
- 特許番号 (5326149号)

ダイレクトジャカード



- 商標登録 (5416906号)
- 特許番号 (4747308号)

タイプ

西陣・桐生
 エンドレス

コントローラ (佐和・カヤバ対応)

AO



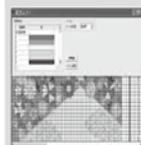
- FD・USB・LAN 対応
- CGS⇔CGS II 双方変換

AO-Light 3



- USBメモリ 対応
- 検索絞込可能

紋紙データ管理「みこし」



- FD⇔USB
双方向変換
- 紋紙データ
管理
- シーケンス

USBドライブ



- 交換はFDドライブと
同じ, CGS II 対応

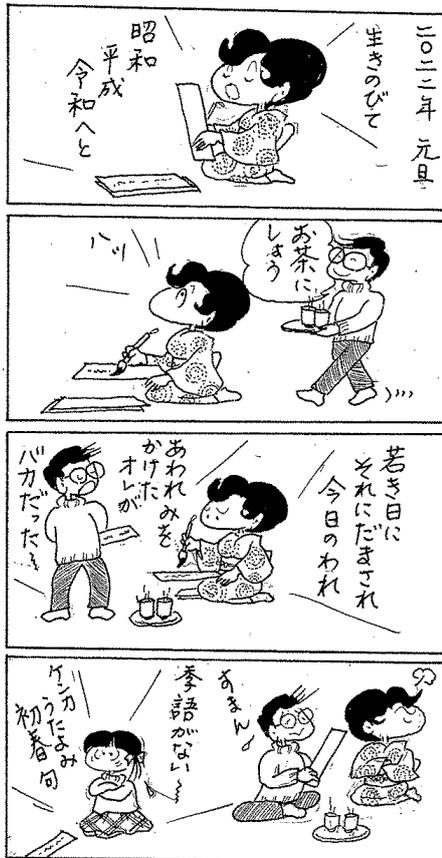
開発・製造・販売



(本社) 〒482-0003 愛知県岩倉市曾野町709
 TEL (0587) 37-9131 FAX (0587) 37-9061

(岩倉工場) 〒482-0002 愛知県岩倉市大市場町郷廻312
 URL: <http://www.css-corp.jp/> E-mail: ao@css-corp.jp

きもの奥さま よいださねえ



編集後記

○新年あけましておめでとございませう。ここ2年の丹後ちりめん創業300周年、組合創立100周年という記念すべき年は終わりましたが、まだまだ通過点。次の100年にも誇れる産地を目指し頑張っていきたいと思います。

○新型コロナウイルス感染症の発生から丸2年が経つなか、変異種のオミクロン株が国内にもじわじわと拡がりつつある。一向に終わりの見えない状況にウンザリしつつ、気を引き締めて感染防止に努めたい。

(MU)

WEBサイト掲載& メール配信希望者募集

組合WEBサイトでは、組合員の企業情報や生地情報の紹介ページを設けています。サイト閲覧者より直接問い合わせが可能となっております。現在も様々なお問い合わせツールとしてご利用いただいています。



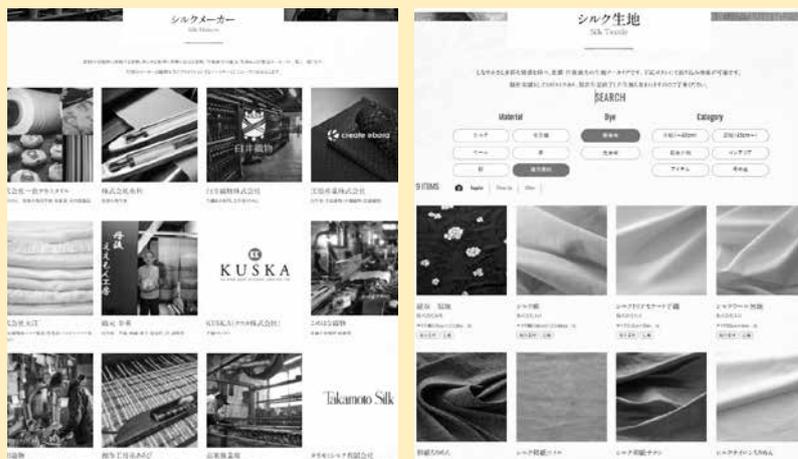
掲載希望の組合員を募集していますので、希望される方は下記までお知らせください。お申し込みにつきましては随時、受け付けています。

また、WEBサイトでご案内している情報や組合員限定のお知らせなどメールにて配信しています。配信を希望される方は、下記のメールアドレスまで会社名、名前、メールアドレスをお送りください。

併せて、WEBサイトやSNSなどに掲載してほしいお知らせやイベント情報なども随時お寄せください。

【WEBサイト企業・生地情報について】

- ・WEB上で企業・生地検索が可能です。
- ・組合員であればどなたでも掲載できます。シルク生地・シルクメーカーとありますが、シルク・化繊等は問いません。
- ・企業情報のみの掲載も可能です。
- ・申込者へは追って申込様式をお届けいたします。



【問い合わせ・申込先】 <https://tanko.or.jp/>

組合ホームページ担当者:TOC事業課 TEL:0772-68-5302

E-mail info@tanko.or.jp

メール件名:「HP企業/生地情報掲載希望・イベント情報・メール配信希望」

